

# 出張医学教育FD(中信松本病院)

【日時】 平成25年2月1日18時30分～19時

【場所】 松本医療センター 中信松本病院

【参加人数】 19名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

- ・CBT/OSCE等についての説明 等

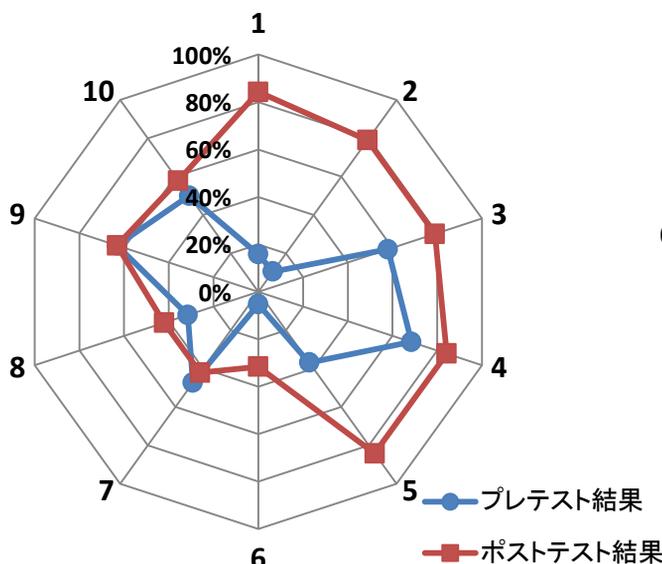
○信州大学における今後の臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について

○DVD映像で見る参加型臨床実習

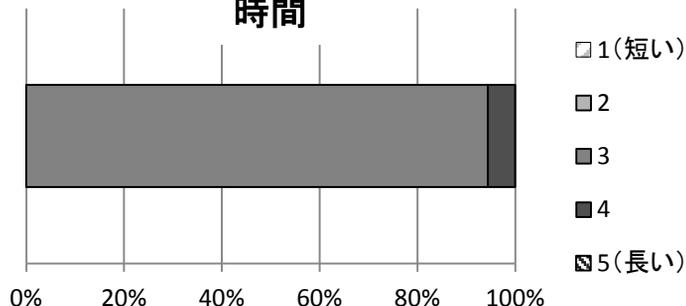


## 医学教育についての理解度

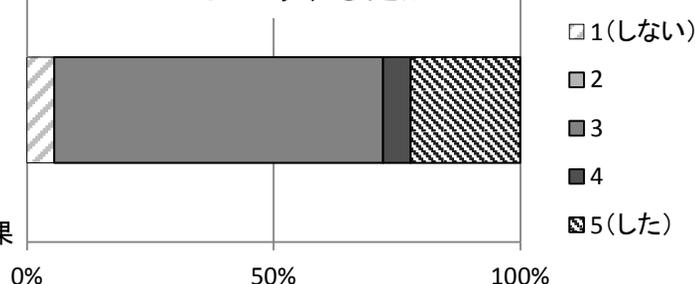


## 参加者の意見

## 時間



## ニーズにマッチしたか



| FDで分かったこと   | FDで疑問が残ったこと  | ご意見  |
|---|--|--|
| このシステムを大学が採り入れない理由が大きく変わろうとしている時期だと分かった。東京医科歯科大学の育成および研修医がとても優秀だった。 | 忙しい中で学生1人に対して後期研修医や指導医が数名実際に付けるかどうか。指導医は固定することになるのでしょうか。 | ハーバードにはハーバードの、日本には日本の良さややり方があると思う。グローバル化も大事だが、一生に一度しかない部活、最後の夏も今後の医師人生にとっても大切だと考えています。 |
| 学生でも医行為をある程度できること。  | 学生に担当させることのできる具体的な医行為の範囲                                 | 当院は初期研修医がほとんどいない。後期も数人しかいないのでチームとしてはバランスが悪いでしょうか。                                      |
| 新しい教育について理解できた  | 具体的な指導方法をもう少し知りたい。                                       |  |
| 参加型の実習が大事ということ  | 意欲のない学生に対する対応  |  |
| 初期・後期研修医や若手医師をうまく使った指導方法が必要なこと                                      | この熱い思いが学生に通じるか。温度差がかなりあると思う。                             |  |
| 日本の学生教育が遅れていること。  | なぜ大学病院でできないのか。   |  |
| 学生教育の考え方を確認できた。   | 古い研修の悪いところ   |  |